

令和2年11月

no.

91

よめばやさしくなる  
しゃきょうの  
こうほうし



# 福祉くまの

特集

赤い羽根共同募金

# 特集 赤い羽根共同募金



## 赤い羽根の歴史

勇気と善行（良い行い）のシンボルである「赤い羽根」。「赤い羽根共同募金運動」の歴史は古く、今から70年以上前の第2次世界大戦後の1947年に「国民たすけあい運動」として始まった活動です。「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第一回目の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値に換算すると、1,200億円に相当する金額だそうです。



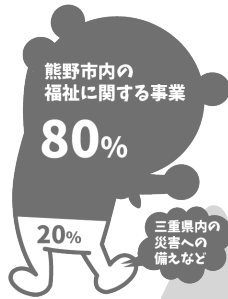
## 募金の使い道

私たちの住むまちには、高齢者や障がいのある人、子育て中の人など、生活する上で助けを必要とする人たちがいます。例えば、高齢者は一日中誰とも会わずに過ごすことがありますし、車椅子が必要な方や、目が不自由な方は買い物にいくにもひと苦労です。子育ての大変さから、心を病む人もいますし、また、大きな災害が発生した地

域では、大勢の人が普通の生活を取り戻すことができず辛い思いをしています。皆様から頂いた温かい募金は、その年度中に三重県共同募金会に集められ、次の年度に、そんな助けを必要としている人たちのための活動に対して配分されます。また、自分の町の活動だけでなく、一部、三重県内の福祉活動（広域での事業活動）への配分や、三重県内の災害に対する備え（基金）と国内の被災地への支援などにも活用されています。それらを実施するためには、その活動の計画を立て、どのくらいお金が必要なのかを決めて、県単位で目標額を算出します。その額から市町毎に目標額が示され、その金額を目標に募金活動を展開します。ここが他の募金とは違う、「計画募金」という性格です。

熊野市共同募金委員会

つかいみち。



## いろいろな募金

募金はもちろん強制ではなく、善意の意思表示なので任意です。しかし、「どのくらい募金したらいいですか？」というご質問を多く頂きます。街頭での募金に対してはありますが、戸別募金では目標額から算出した世帯の目安をお示しする場合があります。しかしあくまでも目安ですので、ご協力可能な範囲でお願いしています。また、街頭募金や戸別募金の他にも、募金機能つき自動販売機（熊野市保健福祉センターにも設置しています）、不要になった羽毛製品をリサイクルした収益金の一部が募金となる「羽毛プロジェクト」、企業やお店などで寄付つき商品の販売の一部を募金する「募金百貨店プロジェクト」など様々な募金活動があります。もしかしたら、知らず知らずの内に、色々な場面で何度もご協力して頂いているかもしれませんね。本当にありがとうございます。



## これからの共同募金

共同募金は開始当初からの精神、「困ったときはお互いさま」は変わらず活動を続けています。しかし、多くの方に広くお願いする活動です。中にはいろいろな誤解を招くことや、何に使われているのか分からないなどの意見を頂くことがあります。目標額を目指すことも大事ですが、多くの人が赤い羽根の意義を理解、納得し、参加してもらえようにすることが重要です。できる限り赤い羽根共同募金が一人でも多くの人に興味をもってもらえるものになるように、またいろいろな形で参加してもらえよう変わる時期なのだと思います。それを踏まえてのこれからの赤い羽根共同募金をどうぞよろしくお願いします。





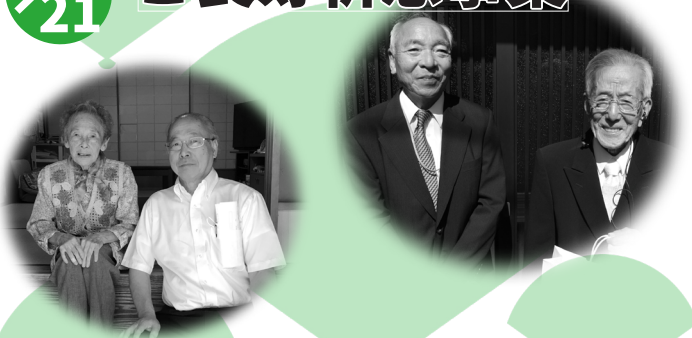
9/25 10/12 満百歳記念事業

9月25日(金)古田とくゑさん、10月12日(月)に木村サトミさんの満百歳をお祝いさせて頂きました。時勢柄、お二人にお会いすることは叶いませんでしたが、これからも元氣でお過ごしください!

おめでとう 寿



9/21 ご長寿祈念事業



市内在住の満95歳になられる23名(全体対象者は52名)の方を対象に、今後ますますの健康とご長寿を祈念するため訪問させていただきました。

10/29

第8回 熊野市社会福祉大会

社会福祉の発展に功績のあった方々への顕彰とともに、福祉関係者等が住民参加の福祉のまちづくりの実現に向けて邁進することを誓いました。※新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して規模を縮小。

受章者は次の方々です。 ※敬称略

【熊野市社会福祉協議会会長表彰】

◆民生委員児童委員功勞者

土口鈴子(金山町)、檜尾慶雄(紀和町)

◆社会福祉功勞者

山口勝久(五郷町)、植田榮子(五郷町)、大谷良子(五郷町)、福山巻郎(飛鳥町)、的場えり子(久生屋町)、山高笑子(久生屋町)、杉山武司(井戸町)、尾崎かゑ美(磯崎町)、川口裕子(磯崎町)、岩崎健二(新鹿町)

【熊野市社会福祉協議会会長感謝】

峯一美(久生屋町)、渡辺佳子(新鹿町)、植地貴子(新鹿町)



ボランティアセンター情報誌 no.87

みんな いっしょに おおきなあれ

いな



イメージキャラクター 「いな」

熊野市ボランティアセンター登録ボランティア数

団体: 31 個人: 17名  
合計: 1,499名  
令和2年9月30日現在



ご協力ありがとうございました♡

マスク寄付事業

コロナ禍における特別事業として6月からスタートしたマスク寄付事業ですが、手作りマスクについては市役所各出張所を通じて約300名の方に、不織布マスクは各居宅介護支援事業所を通じて約260名の方に配布する事ができました。熊野市ボランティアセンターに不織布マスクや手作りマスクをご寄付いただいた皆さま、そして配布のためにご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

なお、マスク寄付事業は9月末をもって一旦終了とさせていただきます。

10月から担当が変わりました。今後ともよろしくお願いいたします。



所在地: 熊野市井戸町 1150 番地  
でんわ: 0597-89-5000  
FAX: 0597-89-3068  
担当: 都竹郁氏 (つづくいくし)



無料法律相談

- ◆ 開設日 11月17日(火)
- ◆ 12月15日(火)
- ◆ 相談員 片山眞洋 弁護士
- ◆ 会場 保健福祉センター
- ◆ 時間 13時から(一人15分)
- ◆ 相談内容 民事全般
- ◆ (相続、離婚、雇用、他)
- ◆ 予約 前日の15時まで
- ◆ 担当 地域福祉係 坪田



リサイクル情報

- ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲ってほしい」という品物を登録し、地域でリサイクルする制度です。リサイクルに関する情報は、
- ① 熊野市保健福祉センター掲示板
  - ② ホームページのリサイクルのページでどうぞ。
- 担当 地域福祉係 榎本



コチラから



第69回 三重県社会福祉大会

10月23日(金) 三重県社会福祉会館において第69回三重県社会福祉大会が開催され、これまでの社会福祉活動に対する功績が称えられ、熊野市より次の方が表彰されました。おめでとうございます。

【三重県社会福祉協議会会長表彰】  
◆ 民生委員児童委員功労  
辻本寛子さん(育生町)



車イスをいただきました。

10月8日(木)和田いく子さん(有馬町)より5福祉施設(たちばな園、熊南、むつみ苑、エイジハウス、熊野市社会福祉協議会)に車椅子の寄贈がありました。和田さんは長年にわたり高齢者福祉に取り組まれており、車イスの寄贈も今回で50回目とのことでした。いただいた車イスは各法人で有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



くまちがいさがし

秋深し。となりはくまちがいさがしをする人ぞ。答えは8つ！抽選で3名の方にプレゼント！応募は、次の3つから。

- ① はがきに文字で答えを書いて送る
  - ② この絵に記入して、はがきに貼って送る
  - ③ //、写真を撮って「おてがみ」から送信する
- はがきの送り先 ☎ 519-4324 熊野市井戸町1150番地 熊野市社会福祉協議会くまちゃん宛  
「おてがみ」の送り方 ☎ 熊野市社協 HP「おてがみ」から。  
または、このQRコードから。→→→
- 令和2年11月27日(金)まで

オススメ

前回当選者と答え

竹内貴美子さん、畑井竹子さん、前田マリ子さんでした！おめでとうございます！！



あともがき

毎年言っている気がするですが、秋の日は釣瓶落とし... なんとともさみしい季節です。▼秋が深まると、美味しいものもいろいろ出てきます。▼このシーズン初めての「鍋」をしました。寒さにはまだ遠いですが、とても美味しくいただきました。(恐らく夏に食べても美味しいのでしょうね)▼今年はずいぶんすよ。心(お腹)に誓います。食べ過ぎないこと！目指すは腹八分目！あ...この台詞、去年も言ったような...。(あきひと)

ここにもくまちゃん

LINE スタンプ、共同募金資材、ホームページ、フェイスブック、そしてこの福祉くまのでも。兔にも角にもくまちゃんを推して来ましたが、ついにすごいのが出ました...。これは逆に動物が寄ってくるのではと思えるほどキュートです...。紀和事業所の花壇で働いています。良かったら見てあげてください。



福祉くまの no.91 (2020年11月)

発行 社会福祉法人 熊野市社会福祉協議会  
☎ 519-4324 三重県熊野市井戸町1150番地  
☎ 0597-89-5000 FAX0597-89-3068

